

オオムラサキ



このボタンを押すと
アニメーションが止まります



大きさ 45—70mm

時期 6-8月

分布 北海道・本州・四国・九州

日本を代表する蝶として、昭和32年国蝶に指定されました。前翅長が45～70mmと日本に棲息するタテハチョウの中では最大で、オスの翅表は青紫色に輝き大変美しく、メスは青紫色には輝きませんが、一般にオスより一回り大きく雄大な感じがします。裏面の地色は銀白色のものと黄色のものがある、西に行くほど銀白色のものが多くなる傾向にあります。夏の雑木林でカブトムシやクワガタに混ざってクヌギなどの樹液に來ています。近年、里山の雑木林が開発により減少し、年々生息地が減り、なかなかその姿を見ることが出来なくなってきました希少種として扱われています。



オス



メス